



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



航空写真（当院と原宿交差点付近H21.3.7撮影）提供 中丸定昭氏

第24号

目次

院長のことば「新病院に期待するもの、果たすべき事」	1
就任ご挨拶	2
退職のご挨拶	3
地域医療連携	
病診連携施設紹介	4
お知らせコーナー	
～当院での産科医療病診連携システム～	5
検討会・研究会の開催	
行事紹介	
看護学校卒業式	6
横浜医療センターOB会（「よこはま会」）	
発会式開催	
第3回横浜医療センター緩和ケア研究会	7
「在宅緩和ケアの実績－問題点と病院に望むこと－」を開催して	
医師の人事異動	

新採用職員紹介	8
職場紹介	
西2階病棟	9
企画課医事	
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成21年4月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：高橋 俊毅
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 F A X：045-851-3902
 U R L：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>

院長のことば

新病院に期待するもの、果たすべき事

病院長 高橋 俊毅

平成22年2月竣工、4月1日開院、診療開始に向けて新しい病院の建築工事は順調に進行しています。地域医療支援病院に指定され、新病院で横浜市南西部地域中核病院となる当院は、神奈川県保健医療計画に基づく地域の脳卒中やがん、糖尿病などの医療連携ネットワークに参加し、提供する「医療の安全と質」の向上にこれまで以上に積極的に取り組む予定です。入院への特化（専門外来の強化、救急・紹介重視型外来）とかかりつけ医との連携、退院時調整専任看護師（長）の増員や地域連携クリティカルパスの活用などで地域での医療連携を深め、特定検診やがんの二次検診への協力も視野に入れます。横浜市南西部地域中核病院として中田宏横浜市長との協定では、①救命救急医療（救命救急センター）②二次救急医療（横浜市小児救急医療拠点病院）③初期救急医療（内科・小児科の24時間365日受け入れ）④周産期医療（NICUをもつ地域周産期母子医療センター）⑤救命救急センターの受け皿としての精神科医療⑥精神科合併症医療（他院からの合併症患者の受け入れ）⑦災害医療（災害医療拠点病院）⑧エイズ医療（エイズ治療拠点病院）⑨その他（病院機能評価の認定等）が要望されています。

新病院は免震構造7階建て、510床（個室30%）、診療科27科、10病棟、医師90名、後期研修医・レジデント18名、初期研修医16名、看護師449名、7:1看護体制、救命救急センターを核とした急性期型高度総合病院として三次までの地域完結型医療を行います。病棟は機能および臓器別センター方式として、救命救急センター（ICU/CCU 10床）、脳神経センター（SCU 3床）、消化器センター、循環器センター（HCU 8床）、母子センター（NICU 6床 GCU 4床）、総合地域医療センター、呼吸器・リウマチ・膠原病センター、骨・運動器センター、精神神経センターなどとなります。その他の部門として、①リハビリテーション部 ②血液浄化・透析センター ③MEセンター ④TQMセンター（医療安全管理室、地域医療連携室、退院時調整、医療相談・MSW、MA、ICT、NST、摂食嚥下、褥瘡、疼痛・緩和医療、診療録管理室、セカンドオピニオンなど）⑤中央診断部（FMS方式の臨床検査部門、放射線・核医学部門、超音波、内視鏡）⑥中央診療部、中央手術部、放射線治療部 ⑦中央材料部 ⑧教育研修部 ⑨臨床研究部（1部5室、治験管理室を含む）⑩栄養管理部 ⑪事務部（2課1室制、企画課、経営企画室、管理課）などを予定しています。医療の質向上と安全を保障し患者サービス向上や職場環境の改善のために、医療情報の提供や管理面では電子カルテまでを整備し、院内横断的組織としてのTQMセンターの機能的活動強化をはかり、職員の職場改善運動（QC活動）などを奨励します。提供する医療レベルの向上のために7:1看護体制を維持し、スキルアップラボを創設（パイピング、シミュレーショングッズの整備）し、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、PT、ST、MEなど多くの職種の増員に努め、教育研修部などで研修医や新人はもとより全職員の研修指導体制を強化します。

平成21年度は病院建築の順調な行程と質管理、電子カルテまでの新病院運営マニュアルの策定、シミュレーションや綿密な計画を策定してスムーズな移行を準備する極めて大事な年となります。行政や医療関係者、そして住民の方々には新病院開院にさらなるご協力をお願いします。

就任ご挨拶

事務部長 佐藤 達生



4月1日付で、千田前事務部長の後任として着任いたしました佐藤でございます。前任地は、当院と同じように新病院建設中であり、本年10月に開院予定の高崎病院です。開院前の慌ただしい時期を過ごしていた折りの当院への配置換でしたが、偶然にも同じような仕事を継続的にさせていただけることにたいへん嬉しく思っています。

当院は新病院整備に伴い、横浜市の中核病院整備事業における南西部地域中核病院に位置付けられ、横浜市民の健康と生命を守る病院とし

ての期待を、これまで以上に担い発揮していくことが求められています。

このような周囲の環境の中で取り組むべきことは、21年度の事業計画の着実な推進とともに、22年4月の新病院開院に向けた新病院の順調な完成と、事故の無い移転作業、そして電子カルテシステムなど新規の運営技術の円滑な運用開始準備です。また、これら以外にも新病院への課題は山積しています。

着任して1日を過ごす毎に増してくるのは、開院までの1年間に果たすべき事務部長としての責任の重さです。この責任の重さをやり甲斐に転換させ、リーダーである高橋院長のもと、職員皆様方一人ひとりの力の結集を頂きながら、長い年数多くの諸先輩方が夢に描いてきた新病院の完成・運営スタートに向けて全精力を注いでいきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

集中管理部長 鈴木 宏昌

昭和の時代に勤務し、4月より21年ぶりに当院に戻った麻酔科の鈴木です。勤務して一週間、建物は当時のままですが(ドリームランドはなくなり、桜の木は減りましたが)、病院の業務内容は大きく変遷したのを感じます。

この間、麻酔科医の業務内容も大きく変遷しました。いまや麻酔科医は手術麻酔だけでなく集中治療や救急医療、ペインクリニックや緩和医療等々の分野に力を発揮しています。一方、急速な手術件数の増加および業務拡張は麻酔科医の過重負担となり麻酔科医不足をまねいたことも事実です。私の出身母体である横浜市立大学麻酔科は、260名以上の麻酔科医が参加する全国でも有数の組織です。この全面協力の元、来年稼動する新病院で



は上記各分野に可能な限り多くの麻酔科医を配置し、個々の医師の負担軽減と病院の能力向上に寄与したいと考えています。麻酔科医は病院の中核機能を担う役割を負っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

就 任 ご 挨拶

神経内科部長 高橋 竜哉

此の度、平成21年4月から神経内科部長に赴任致しました高橋竜哉（たかはし たつや）と申します。これ迄、横浜市立港湾病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターで培って来た経験を最大限に生かして本病院に貢献出来れば本望です。



特に力を入れている分野が4つ有ります。一つは脳卒中です。適応のある超急性期脳梗塞患者は血栓溶解療法を受ける事が出来、時に驚く程改善しますが、此の治療を行う為には発症後2時間以内の来院が必須です。現在病院毎の血栓溶解療法や脳卒中専門医診療の可否がリアルタイムで判る「脳卒中カレンダー」を市全域で運用中で、当院は24時間365日何れも可能な施設として中心的な役割を果たして居ります。二つ目は日本頭痛学会専門医としての頭痛診療、三つ目は多発性硬化症や重症筋無力症、ギラン・バレー症候群などの神経免疫疾患に対する専門的な治療、四つ目はパーキンソン病や脊髄小脳変性症、多系統萎縮症などの神経難病に対する検査入院です。脳・脊髄・末梢神経・筋について幅広く診て行きますので今後共どうぞ宜しく御願い申し上げます。

退 職 の ご 挨拶

前事務部長 千田 隆夫

初めての湘南勤務に胸躍らせ着任した平成18年7月が、つい先日のように感じるのは、皆さんと共に苦勞しながらも楽しい日々を送ることが出来た、私の思い出からでしょうか。振り返れば走馬燈の如く眼前に見えてくる1000日を超える日々の日記帳。

新病院建築に向け、是が非でも確保せねばならない患者数確保のため、暑い8月の夏日に高橋院長から三日間に亘り全職員に熱く語り続けた新病院の夢。これを機に、念願の事業計画を達成し翌年への弾みとなった年でもありました。

同じ頃、大型看護学校建築が地域住民の皆様には十分な説明が出来ず着工が遅れ、新入生の教室が確保できない状況から、何度と無く説明会を開催し地域住民の皆様にご理解を得ることができ、一ヶ月に及ぶ体育館での授業となったが開校に間にあったこと。

横浜市と交わした幾たびの議論から、新病院の開院に合わせ、横浜市南西部地域中核病院に位置づけられ、正に地域に根ざした病院として今まで以上の期待に応えて歩まねばならぬこと。

基本設計の承認から各部会でのヒヤリングを踏まえ実施設計の承認まで予想外の日数を要したこと。物価高騰の影響から再度入札となり、価格も法外の額となり幾度と無く本部との償還計画に議論したこと。書きたい事柄が多く原稿スペース不足となりそうですが、やはり楽しい思い出が多いのは、皆さんと一堂に会した学校体育館での思い出。納涼祭、忘年会、歓送迎会、登録医大会…など。そうだ、県外まで遠征した野球やスキーもあった。OBとのゴルフも…。

本当に数多くの楽しい思い出をくれた横浜医療センターの皆さんに感謝し、夢の実現が目前の新病院開院を祈念し、退任の挨拶とします。大変お世話になりました。そして、有り難うございました。

地域医療連携 病診連携施設紹介

まとは眼科

診療科目：眼科

みなさん、こんにちは。当院は戸塚駅東口から4分ほどの上倉田町のビルの2階にあります。平成10年4月に開業させていただいて11年になります。柏尾川の桜がきれいに咲くと、開業した頃のことを思い出します。

眼科一般外来の診療をしておりますが、特に緑内障の早期発見、小児眼科に力を入れています。眼は体の中ではとっても小さな臓器ですが、視覚から得られる情報は重要です。以前、緑内障は眼圧（眼の硬さ）が高いものと定義されていましたが、今では眼圧の低い正常眼圧緑内障が多いことが知られています。また、さまざまな病気の治療においても、以前とは全く考え方が変わってきているものも多くあります。受診の際には何でも聞いてください。

また心の悩みをお持ちの方（大人も子供も）が多い社会になって来ていると、日々の診療で感じています。人と人とのつながりが大切ではないでしょうか。患者さん自身のことに限らず、ご家族のこともお話しできることが、開業医になってからの喜びと感じています。

横浜医療センター眼科には手術が必要な方や、特殊な治療が必要な方を紹介しお世話になっております。また脳外科や内科の先生方にもお願いすることも多く、ありがとうございます。横浜でも病院の医師不足が始まっています。地域医療の質を守るためには、横浜医療センターとの連携をより良いものにする必要があります。横浜医療センターには高度な治療に専念していただけるように、私も微力ながら努力いたしますので今後ともよろしくお願いたします。



的場 博子院長（右から2人目）



まとは眼科

〒245-0061 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町447-1 2F

TEL 045-866-1888

診療時間 9：00～12：30 月・火・木・金・土

15：00～18：30 月・火・木・金

休診日 水曜日、日曜日、祝日、土曜日の午後

お知らせコーナー

～当院での産科医療病診連携システム～

母子医療センター部長 中村秋彦

産科医の不足やお産を取り扱う医療施設の減少など産科を取り巻く医療体制が危機にあると言われています。現在も改善される見通しが付いているとは言えません。しかしそんな中でもいろいろな取り組みがなされつつあります。セミオープンシステムや院内助産院、助産師外来、院外助産院の活用などです。当院での取り組みを説明します。

総合病院では個人経営の医療施設に比べハイリスクの妊娠・分娩がどうしても増えます。そこで働く医療スタッフは大きな負担を抱える事になります。病に倒れたり、燃え尽きたりして職場を去る人も多いのです。当院の産婦人科のスタッフは医師が5名、助産師が24名ですが、婦人科の手術をこなしながらの診療ですから充分とは言えず、ぎりぎりの人数で運営されています。現在当院では分娩予約を月70件に制限しています。それでも平成20年度の分娩数は前年度に比べ100件程増加していますし、21年度はさらに100件程増加する事が見込まれています。

限られたスタッフでより多くの分娩を引き受けるため、当院では近隣の分娩を取り扱わない医療施設との協力体制を組む事としました。リスクの少ない妊婦さんの妊娠管理は近隣の医院やクリニックでして頂きます。リスクの高い妊婦さんの健診、夜間休日の異常、分娩は当院で担当させていただくという考え方です。具体的にはまず近隣の連携施設を受診して頂きます。胎児心拍の確認後その医療施設から分娩の予約と妊娠20週付近での受診予約をFAXで取って頂きます。妊娠34週以降の健診および分娩は当院でして頂きます。このようにしてより多くの妊娠・分娩を取り扱う事が出来ればと考えています。

現在約50%の妊婦さんにこのようなシステムを利用して頂いております。スムーズに安心して妊娠・分娩をして頂けるように、関連医療施設との間で連絡会議を定期的に持つこととして頂きますし、連絡を密にするよう連携票の作成に着手するなどの試みを始めています。

妊娠している方に是非お願いします。まず近隣の医療施設で妊娠の診断を受けて下さい。そこからこのシステムが始まります。この近辺で協力して頂いている施設は「わかば医院（原宿）」「新井産婦人科内科医院（湘南台）」「伊東医院（矢部町）」「黒川医院(善行)」「横井レディースクリニック（大船）」「聖ローザクリニック（東戸塚）」「エビナ医院（長沼町）」「和泉クリニック（和泉町）」「柳沢産科婦人科医院（上郷）」「腰越中央医院（鎌倉）」「岩上レディースクリニック（港南台）」「ブルックスレディースクリニック（戸塚町）」などですが、もちろん他の医療機関でも可能です。是非ご相談してみてください。

横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長

045-851-2621（代）

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長

045-851-2621（代）

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

行事紹介

看護学校卒業式

横浜医療センター附属 横浜看護学校第44回生一同

平成21年3月5日、私たち44回生は無事に卒業式を迎えることができました。入学当初より少ない人数でスタートした学校生活も、今ではあっと間に過ぎていったような気がします。私たち44回生20名は少ない人数ながら一人一人の個性が強く、団結力はどの学年にも負けない強さをもっていました。クリスマスコンサートや合唱コンサートなどに進んで参加し、患者様に喜んでいただけるように演技などを取り入れることで、大成功を取めることができました。さらに皆で一致団結して行ったことで、仲間とのより深い信頼関係を築くことができました。

2年生になって本格的な臨地実習が始まると、患者様との接し方や看護について悩み何度も壁に突き当たることもあり、その度に自分の夢を諦めかけそうになりました。しかし、その時に一番近くで誰にも言えない悩みを聞き、いつも親身になって相談に乗りアドバイスをくれたのは、44回生の仲間でした。3年間の学校生活では看護の大切さだけでなく、仲間を大切にすることを学ぶ事ができました。今後も一人一人がそれぞれの道で活躍できるよう、皆で支え合いながら頑張っていこうと思います。

今回無事に卒業を迎えることができたのは、いつもすぐ側で的確な指導をしてくださった教員の先生、慣れない臨床の現場で優しく手を差し伸べ、看護の大切さや必要性を教えて下さったスタッフの方々の支えのおかげだと感謝しています。卒業後は就職や進学とそれぞれ道は違いますが、横浜看護学校の44回生として卒業したことを誇りに持ち、看護師目指そうと決めた時の初心を忘れず、この学校で学んだことを土台にして、日々前進していこうと思います。今後も患者様のニーズに添い、より深く質の高い看護を提供できるように励んで行きたいと思っておりますので、温かい目で私たちの成長を見守っててください。

今後どうぞよろしくお願いたします。



卒業式記念写真

横浜医療センターOB会(「よこはま会」)発会式開催 管理課長 室伏 勝俊

予てからOBの医師等から要望の強かった全職員を対象とした職種横断の「よこはま会」を設立、3月7日(土)に発会式を行いました。

当日は前日までの雨も上がり、温かい日中で晴天に恵まれての開催となり、小坂名誉院長を始め、三木前院長、加勢・加藤元部長、元東京女子医大学長であった林先生、阿津・糸川元看護部長等、63名のOBの方々が出席され、現職を含め85名が参加しました。

設立総会では高橋院長の挨拶に始まり、千田事務部長からOB会設立の趣旨・会則の説明があり、会則・役員案等について出席者の承認を受けた後、会長の三木先生の挨拶、事務部長から新病院整備等病院の現況について説明を行いました。

また、金子先生から在職当時(昭和30年~50年代まで)の横浜病院の懐かしい写真を使った思い出について紹介があり、当時在職された方々から感嘆の言葉が聞かれました。

続いて、看護学校体育館で記念撮影の後、1Fホールで懇親会を行い、盛大なうちに終了しました。

地域医療連携でお世話になっている先生方のみならず、事務・看護・コメディカルを含め、旧交を温める良い機会となりました。

今回は、従来の事務部の「横浜会」を拡大し、医師は名簿登録者、その他は独法移行前の平成15年以降に転・退職された方々を対象に案内状を送付したが、今後は入会希望の方々を順次追加し、来年の新棟完成時にOB向けに「お披露目会」を行う目的も含め、名簿登録者の拡大を図っていく予定です。

皆様の積極的会員参加をお願いします。



発会式の様子

第3回横浜医療センター緩和ケア研究会 西5階病棟(がん性疼痛看護認定看護師) 星野 睦美

第3回横浜医療センター緩和ケア研究会主催の講演会が3月19日18時00分～19時30分に開催され、開業医の先生方10名、院内より73名が参加しました。

講師は、在宅緩和ケアを実践されている横浜市都筑区の藤井クリニック院長藤井勇一先生をお招きして、在宅における緩和ケアの具体的事例から、病院と地域診療所との連携の実際と連携する上での問題についてお話をお聞きしました。

日頃、私たちは患者様の退院がほぼ決定してから退院後の必要事項について説明・指導をしています。しかし、入院当初から退院後を見据えて、患者・家族に在宅診療・緩和ケアの意向等を確認して進めることが重要で、特に、がん患者様が在宅緩和ケアを希望する場合は、依頼先の医師や看護師と十分に検討し、詳細な計画を立てて取り組むことの重要性も再認識しました。

今回、藤井勇一先生より教えて頂きましたことを今後の緩和ケアに活かせるよう、地域の関係施設との連携を深めていきたいと思います。最後になりましたが横浜医療センターの緩和ケアチームは、がん患者様の痛み・苦痛をできるだけ緩和できるよう活動しておりますので、気軽に医師・看護師相談してください。



講演の様子

医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
21.4.1	採用	集中管理部長	鈴木 宏昌	相模原共同病院	20.12.31	退職	麻酔科医長	渡邊裕生
21.4.1	採用	神経内科部長	高橋 竜哉	横浜市立大学附属市民総合医療センター	21.3.31	退職	形成外科部長	高瀬 悦
21.4.1	採用	形成外科部長	村下 一晃	茅ヶ崎徳州会病院	21.3.31	退職	心療内科医長	成田 博之
21.4.1	採用	糖尿病内分泌内科医長	高木 佐知子	東京女子医科大学	21.3.31	退職	精神科医長	山口 隆之
21.4.1	採用	心療内科医長	佐倉 義久	山手正恵会ワンズ坂病院	21.3.31	退職	循環器科医師	巽 藤緒
21.4.1	採用	精神科医師	森田 睦郎	横浜市立大学附属病院	21.3.31	退職	小児科医師	和田 芳雅
21.4.1	採用	循環器科医師	網代 洋一	東京女子医科大学病院	21.3.31	退職	外科医師	小林 敦夫
21.4.1	採用	小児科医師	石津 博子	横浜南共済病院	21.3.31	退職	整形外科医師	小椋 研
21.4.1	採用	外科医師	浅野 史雄	横須賀市立市民病院	21.3.31	退職	整形外科医師	河井 卓也
21.4.1	採用	整形外科医師	山崎 吉以	小田原市立病院	21.3.30	退職	産婦人科医師	小笠原 良治
21.4.1	採用	整形外科医師	安羅 有紀	相模原協同病院	21.3.31	退職	産婦人科医師	高江洲 陽太郎
21.4.1	採用	産婦人科医師	佐々木 徹	船橋市立医療センター	21.3.31	退職	眼科医師	岡部 智子
21.4.1	採用	産婦人科医師	神保 覚子	当院臨床研修医	21.3.31	退職	麻酔科医師	古賀 資和
21.4.1	採用	眼科医師	秦 桂子	東邦大学医療センター大森病院	21.3.31	退職	レジデント(外科)	藪下 泰宏
21.4.1	採用	麻酔科医師	三上 敦子	横浜労災病院	21.3.31	退職	レジデント(整形外科)	城下 晃
21.4.1	採用	麻酔科医師	井田 頼子	横浜市立大学附属病院	21.3.31	退職	レジデント(精神科)	堀 亜希子
21.4.1	採用	麻酔科医師	土屋 智徳	横浜労災病院	21.3.31	退職	レジデント(皮膚科)	山本 都美
21.4.1	採用	麻酔科医師	岩岡 由紀子	相模原共同病院	21.3.31	退職	専修医(糖尿病内分泌内科)	松浦 宏之
21.4.1	採用	脳神経外科医師	郭 樟吾	当院レジデント	21.3.31	退職	専修医(糖尿病内分泌内科)	須澤 直木
21.4.1	採用	レジデント(外科)	佐野 渉	横浜栄共済病院	21.3.31	退職	専修医(脳神経外科)	川原 団
21.4.1	採用	レジデント(整形外科)	宮澤 理恵	北里大学病院	21.3.31	退職	研修医	石村 洋平
21.4.1	採用	レジデント(整形外科)	吉竹 俊裕	北里大学病院	21.3.31	退職	研修医	岡崎 百子
21.4.1	採用	レジデント(精神科)	山口 和己	横浜市立大学附属市民総合医療センター	21.3.31	退職	研修医	田中 晶
21.4.1	採用	レジデント(皮膚科)	谷口 友則	北里大学病院	21.3.31	退職	研修医	松岡 剛
21.4.1	採用	レジデント(糖尿病内分泌内科)	山口 勇人	東京女子医科大学病院	21.3.31	退職	研修医	吉田 尚弘
21.4.1	採用	臨床研修医	李 岳龍	横浜市立大学附属市民総合医療センター	21.3.31	退職	研修医	竹内 梓
21.4.1	採用	臨床研修医	畑岡 峻介	横浜市立大学附属市民総合医療センター	21.3.31	退職	研修医	竹内 久恵
21.4.1	採用	臨床研修医	行田 悠	山梨大学医学部附属病院	21.3.31	退職	研修医	小林 幸司
21.4.1	採用	臨床研修医	柏倉 麻里		21.3.31	退職	研修医	三條 博之
21.4.1	採用	臨床研修医	田中 悠介		21.3.31	退職	研修医	立花 奈緒
21.4.1	採用	臨床研修医	西 悠里					
21.4.1	採用	臨床研修医	森 真理子					
21.4.1	採用	臨床研修医	川端 雄一					
21.4.1	採用	臨床研修医	名倉 俊輔					
21.4.1	採用	臨床研修医	山崎 俊介					

新採用職員紹介

4月を迎え多くの新人職員を迎えました。各職代表してご挨拶、抱負などを語っていただきました。

研修医1年次 田中 悠介



今年の4月から横浜医療センターでお世話になっております、研修医1年目の田中悠介と申します。縁あってこの病院での初期研修をさせて頂くことになりました。現在、消化器内科を回らせて頂いておりますが、先生方をはじめ、看護師さんなどとても優しく接して下さり、また、手技的な治療・検査も数多くさせて頂けるためとても勉強になっています。このような病院で研修できることはとても幸せなことであり、精一杯努力して成長していければと思っております。よろしくお願い致します。

看護師 佐藤 郁実



～私が横浜医療センターを選んだ理由～

私は機構の看護学校を卒業後、保健師の資格取得のために大学に編入しました。実習を通して自分には経験が必要だと思い看護師での就職を決めました。

横浜医療センターは地域連携室の設置や退院調整を業務とする師長さんを置いています。地域に選ばれる病院になるという方針に魅力を感じました。就職試験の面接での「夢を叶えるための第一歩を当院で踏み出してもらえたら私たちは力いっぱい応援しますよ」と院長先生の言葉がとても心に残っています。将来、地域の人々に信頼され、地域に根ざした保健師になれるように当院で学んでいきたいです。

診療放射線技師 遠藤 沙瑛子



この春、大学を卒業し、平成21年4月1日より、診療放射線技師として勤務しております遠藤沙瑛子と申します。

今は一般撮影部門で先輩方の教えを受けながら、接遇とポジショニングを勉強しています。まだまだ、知識と技術不足で、患者さんを前にすると緊張してしまい、先輩に助けられている毎日です。早く仕事を安心して任せられる技師となり、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

臨床検査技師 志村 幸大



はじめまして。

4月より臨床検査科に配属になりました臨床検査技師の志村幸大と申します。

この春に大学を卒業したばかりの新人ですが、何にでも積極的に挑戦していきたいと考えています。また、患者さんにとって良い医療を提供するため自分に何が出来るかをいつも考えながら検査の現場で働いていきたいと思っております。

まだまだかけだしですが、はやく一人前になれるよう頑張りますのでご指導よろしくお願い致します。

オープンセミナーのお知らせ

身につけよう！！「一次救命処置」

日時：平成21年5月20日 17:30～19:00
場所：横浜医療センター附属横浜看護学校 実習室
講師：横浜医療センター 救急看護認定看護師 仲野 望
対象者：看護師の皆様
問合せ先：045-851-2621
申し込み方法：FAXまたは郵送 副看護部長 長田



心肺蘇生の基本を
実習を交えて楽し
く学びましょう！
ぜひ参加してくだ
さい！！

職 場 紹 介

●今回は西2階病棟と
企画課医事の紹介です。

西2階病棟 ～地域に愛される小児病棟をめざして～

看護師長 岡部 由美

当病棟は、小児病棟として小児科医師11名と看護職員30名の活気のある明るい病棟です。入院患者は、全診療科の小児を対象としており、未熟児室6床を含んでいます。また、横浜市の小児救急拠点病院として、365日24時間救急入院患者を受け入れています。

一般小児では、喘息などのアレルギー疾患を多く受け入れており、食物負荷試験も実施しています。

未熟児室においては、妊娠32週からの児を対象に、呼吸管理・発育促進をすすめるとともに、家族への育児支援も行っています。

未熟児室を退院し、時には熱を出して、また入院となる場合も少なくありませんが、そのお子さん達の健やかな成長・発達を見守りながら、やがて無事小児科を卒業していかれることが私たち小児看護に携わるものの喜びとなっています。

わが子の急な入院のため、不安を抱いて来院するご家族に対して、少しでも力になることができるよう心のこもった看護を提供させて頂きたいと考えています。



病棟のスタッフ

企画課医事

ニチイ学館フロントマネージャー 荒木 みさき

今日も笑顔で「おはようございます」。初診・再診受付、料金計算、入退院受付等で患者さまの対応をさせていただいております。企画課医事のニチイ学館です。私たちは委託業者ですが、患者さまが病院に来院されて最初にいらっしゃる窓口を任されているのですから、「病院の顔」と胸をはって言えるよう、研修等で接遇マナーの向上に努めております。また、外来・入院の会計入力業務においては、2年ごとに改正される診療報酬を正しく理解し、保険や公費医療の知識を深めて、正確かつ迅速に入力業務を行い、患者さまの待ち時間を少しでも減らすよう心掛けております。患者さまと直接接することのない部署、診療録管理室で入院カルテの管理をしているスタッフや、入院病棟でカルテ・フィルム・書類等の整理をしているスタッフもいます。

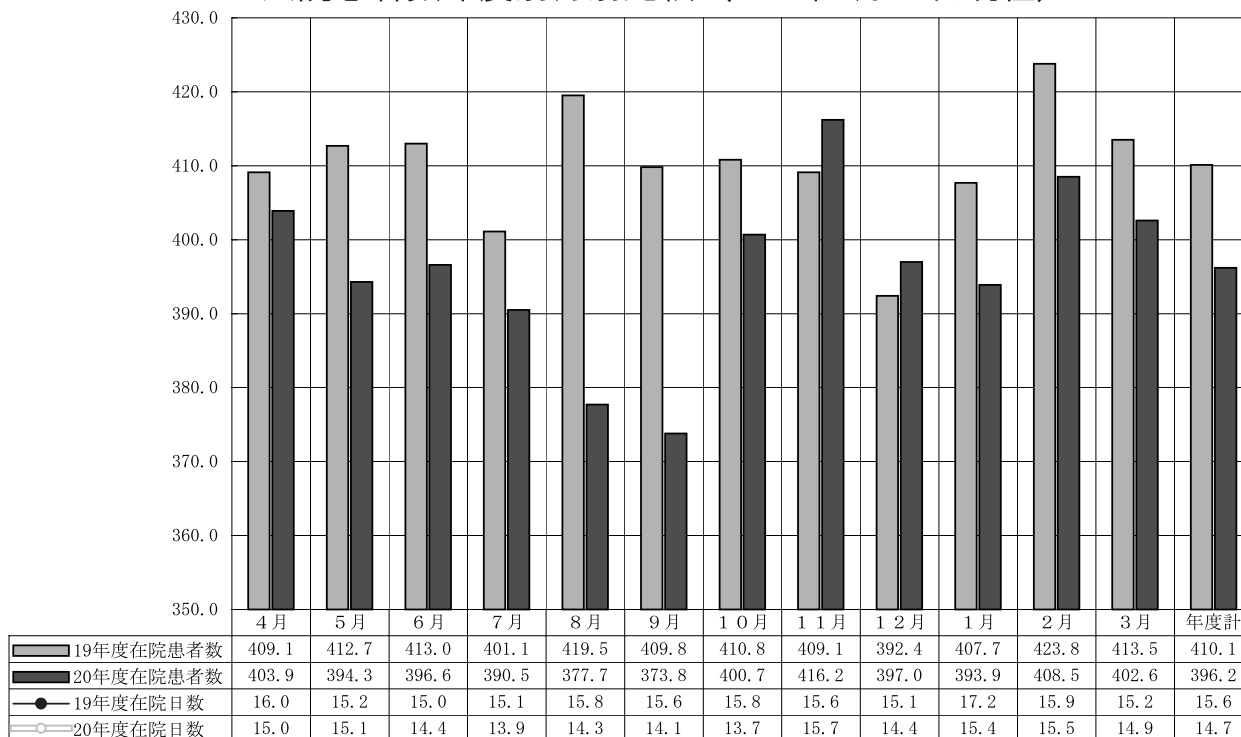
総勢53名、医師・看護師のように治療はできませんが、患者さまの痛みや辛さを少しでも和らげることができればと、思いやりのある心のこもった対応を心掛けてまいります。



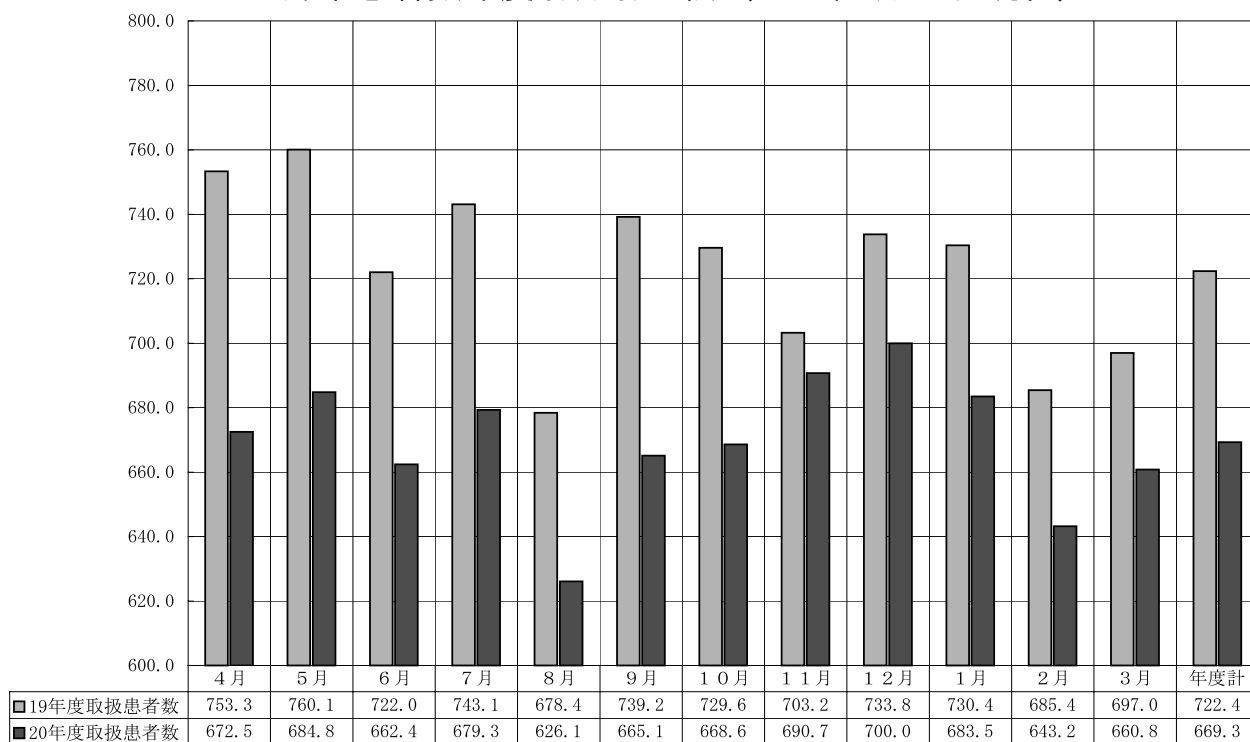
医事のスタッフ

患者数等の動向～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H21年4月30日現在)



外来患者数年度別月別比較 (H21年4月30日現在)



編集後記

春になりあつという間に桜も散り、もう夏かなと思わせるような日が続いています。
この4月、当院では100名を超す職員を新たに迎えました。

100名の中には、大ベテランもいれば、新卒で免許取りたての新人さんもいます。いま新人は各職場に就き、先輩達に教育され、徐々に力を伸ばしているところです。

その新人と同様に、新病院建築工事も順調に進み、ぐんぐんと背を伸ばしています。両方ともあとは中身をどう作っていくかですが、もちろんそれは我々職員の腕にかかっています。

ハードな一年到来っ、気を引き締めて乗り切りましょう!!

庶務班長 鈴木美智子



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週内科 第2・4・5週循環器	第1・3・4・5週消化器 第2週 内科	榎原 基史	高橋 竜哉	曾我 隆義	▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ ■:午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)網代
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人		検査日	遠藤 雅直	高橋 竜哉	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 ■山根 章	
	消化器内科	天野 覚美	鈴木 大輔	松島 昭三	渥美 友理子	小松 達司	
	循環器科	内田 吉枝	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
	リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	関口 章子	■関口 章子 ■曾我 隆義	
心療内科	検査日	森田・佐倉	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ<水曜日><物忘れ外来>/<水曜日><一般・小児心身症>	
精神科	森田 睦郎	武川 吉和	山口 和己	佐倉 義久	武川 吉和	※月～金:新患受付は10時まで受け付けます。(要紹介状、1日2名の予約制) 但し、当該医師以外の医師が診察いたします。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
小児科	鎌木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鎌木 陽一	小林 慈典 注③	注③ 第4週 休診	
	石津 博子 注①	及川 茂樹	塩谷 裕美 注②	長濱 晶子	小郷 寛史	注① 第3週休診 注② 第3、4週 藤塚	
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	注⑥	注⑥ 急患のみ受付	
	佐野 渉	浅野 史雄	一万田 充洋	佐野 渉			
呼吸器外科				山仲 一輝	坂本 和裕 山仲 一輝 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊 山崎 吉以 宮澤 理恵	日塔 寛昇 国府 秀俊 吉竹 俊裕	国府 秀俊 山崎 吉以 岩本 直之	日塔 寛昇 安羅 有紀 吉竹 俊裕	安羅 有紀 岩本 直之 宮澤 理恵 日塔 寛昇注⑦	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00 注⑦予約のみ	
形成外科	村下 一晃		村下 一晃	村下 一晃	村下 一晃		
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博	新山 奈々子	高須 博	高須 博	高須 博	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼・往診はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。	
	新山 奈々子 谷口 友則	谷口 友則	新山 奈々子	谷口 友則	新山 奈々子 谷口 友則		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
産婦人科	向田 一憲	佐々木 徹	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
	窪田 与志	交代制 注①	佐々木 徹	中村 秋彦	向田 一憲	注①中村・窪田・神保が担当します	
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30	
	秦 桂子		秦 桂子	秦 桂子			
耳鼻咽喉科	新橋 渉	向出 光博	春日井 茂	高津 光晴	山口 央一	(受付)初診・予約外再診とも 8:30～10:00まで	
放射線科		皆川 由美子 注⑦	幡多 政治 注⑧			※注⑦火曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑧水曜日9:00～11:00【完全予約制】	
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	手術日	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 大槻伸江(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鎌木・菅井)	腎(長濱)※第1・3週	アレルギー(交代制)	乳児検診 (交代医師)	循環器(鎌木) ※第3以外 予防接種(交代 医師)	
		アレルギー検査 (交代医師)	アレルギー(鎌木)	アレルギー(菅井)		神経(大山)※第 3のみ	
	外科	癌化学療法外来	乳癌検診	癌化学療法外来	癌化学療法外来		乳癌検診については、毎週火曜日午後2時から2時30分まで、予約 制で行います。予約は②番窓口及び電話で行います
		癌化学療法外来	癌化学療法外来	スキンケア外来 ※第2・4週			
	スポーツ整形外科		※注⑨			※注⑨担当医:(国府) 毎週15:00～16:00	
	産婦人科	母親教室	助産師外来※注⑩ 母乳外来※注⑪			※注⑩ 第2・4週の午前 ※注⑪ 各週午後	
	アルコール						
循環		ヘルスメカ外来 ※注⑫			※注⑫ 第1・3・5週[加藤] 第2週[内田]		

初 診 受 付 : 平日 8:30～10:00
再 診 (予約外) 受 付 : 平日 8:30～10:00
休 診 日 : 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

